

まだまだ試行錯誤中・・・

基本方針

01

公共施設等の総量削減

- ・ 公共建築物の再編
- ・ リノベーションの推進
- ・ 新規整備の抑制

アクションプラン
地域別実行計画

基本方針

02

官民連携の推進

- ・ 民間事業者の活用
- ・ 地域プラットフォーム
- ・ 複合化・多機能化

検討過程のルール化
大規模施設等整備への活用

基本方針

03

新たな財源の確保

- ・ 財産の有効活用
- ・ 受益者負担の適正化
- ・ 将来の更新への備え

公有資産
有効活用

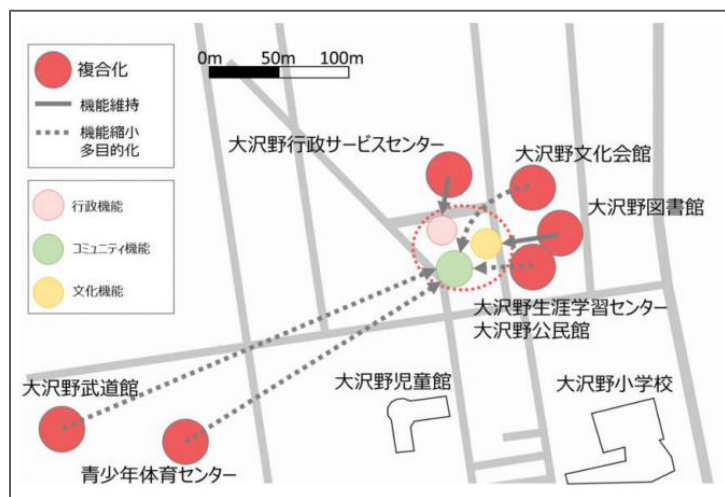
富山市の公共施設マネジメントの取組 – 大沢野地域公共施設複合化事業 –

- 合併前の庁舎であった行政サービスセンターや周辺施設において、必要とする機能を改めて見直し、複合化による財政負担の削減と施設機能の向上などにより、公共施設再編を目指す
- 民間事業者の資金・ノウハウを生かしたコンセプト実現を目指す(行政×住民×民間)

コンセプト:多世代交流拠点

大沢野地域公共施設複合化事業

- ・ 新規複合施設
- ・ 生涯学習センターのリノベーション
- ・ 自主提案事業(跡地活用:独立採算)



提案事業コンセプト

『おおさわの ふらり』

「ふらり」と立ち寄りたくなる、新しい多世代交流拠点

- ・ SPCがコンテンツを設置・更新するとともに、行政・住民・事業者による賑わい創出委員会を設置
- ・ 図書館を「交流・活性化の核」とし、ホワイエと一体的に整備

富山市の橋梁マネジメントの取組 ―橋梁トライアージ―

- 橋梁トライアージに基づく選択と集中によるメリハリのある橋梁マネジメントを推進
- 重要性の高い橋梁は優先的に修繕や更新を行う一方、その他の橋梁は重量制限や通行止めなどの使用制限、さらには必要性が低下した橋梁は集約化・撤去も含めて検討

■ 富山市における「橋梁トライアージ」の取組

【橋梁トライアージとは】

- 限られた資源でより多くの重要な橋梁を将来に引き継ぐための施策。
- 道路や橋梁の位置付けや役割などの「社会的性質」を評価し、すべての橋梁に管理区分を設定するとともに、管理区分に応じた管理水準を設定してメリハリのある対応を推進。
- 「社会的性質」と、定期点検等で把握した健全性や構造などの「技術的性質」を踏まえて、補修等の措置の優先順位を定めて対応を実施。

<措置の優先度設定の考え方>

社会的性質

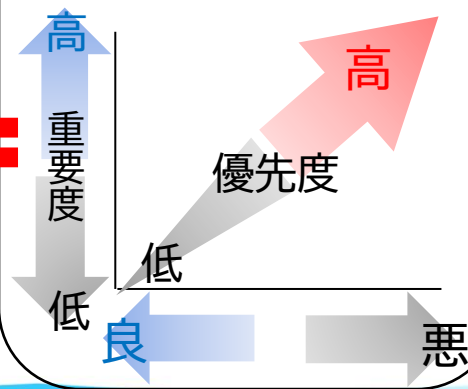
(管理水準)

- 道路の役割や位置づけ等を評価→4つの区分に分類 (管理区分A～D)
- 重要度**
- A** 機能低下を防止 的確な維持管理
優先的に修繕・更新
 - B** 一定の機能低下は許容 的確な維持管理
修繕・更新 使用制限
 - C** 一定の機能低下は許容 効率的な維持管理
修繕・更新 使用制限
 - D** コストを最小限に抑えた維持管理
使用制限 集約化・撤去

技術的性質

- 橋梁の健全性や構造の特殊性等を評価
- 損傷の程度
 - 構造の特殊性
 - 維持管理のしやすさ
 - 障害発生時のリスク

措置の優先度



富山市の橋梁マネジメントの取組 ー橋梁トライアージー

- 鋼吊橋の主索ケーブル・床板の腐食により耐荷性が著しく低下し2012年から通行止め。
- 橋梁トライアージの考え方にに基づき、社会的性質・技術的性質を踏まえ、撤去することを決定し、2023年に撤去工事を実施。

橋梁名: 山吹橋(ヤマブキバシ)
場 所: 富山県富山市
橋 長: 75.8m
幅 員: 2.7~3.5m
形 式: 鋼吊橋
供用年: 1955年
点検結果: IV (2020年)
備 考: 2012年より通行止め

社会的性質

必要性が著しく低下しており、さらに、迂回による機能分担が可能

技術的性質

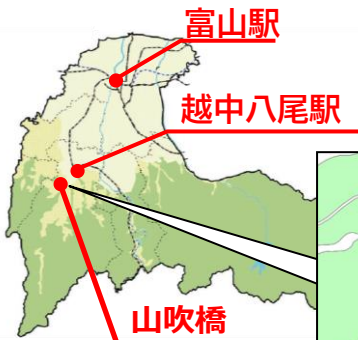
耐荷性が著しく低下しているため、抜本的な対応が必要



措置の方向性

【集約化・撤去する】八尾大橋に集約

- ・ 耐荷性能が不足しており、安全な通行確保には「更新」が必要であるが、都市活動や日常生活における道路としての重要性は相対的に低く、補修等の必要性は低い。
- ・ 利用者も限定的(1日数名程度)で、迂回も可能である。



全景



右岸側

